

## 平成 24 年度 第 9 回（12 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 12 月 13 日（木）午後 19 時 00 分～19 時 45 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、酒井、栗本、清水、杉山、増田、山田、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 宮野、山西、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

### 【 討議内容 】

#### I. 行動報告（11 月分）

別紙参照

#### II. 経過報告

##### 1. 日臨技・近臨技

- ・平成 24 年度関西支部医学検査学会（第 52 回）終了報告  
一般演題 166 題、特別企画 67 題、参加者数 969 名
- ・日臨技総合監理検査技師制度 認定監理検査技師コース第 1 回「運営管理の基礎」のカリキュラム  
12 月 15 日（土）①運営・管理を考えるにあたって  
②医療保険の仕組み  
③病院の会計方針  
④病院経営・運営方針の考え方  
12 月 16 日（日）①検査室の危機管理  
②最近の医療事故について
- ・12 月 15 日（土）に、関西支部幹事会・近畿臨床検査技師会会議開催予定。

##### 2. 事務局

〈総務部〉11 月 21 日（水）に部会を開催した。

- ・平成 25 年度からの会費納入方法変更に伴う対応について検討した。
- ・平成 25 年度大臨技臨床検査賠償責任保険について検討した。
- ・平成 24 年度大臨技会長賞について検討した。
- ・Web の CMS 化について検討した。
- ・大臨技ニュース 11 月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉11 月 21 日（水）に部会を開催した。

- ・10 月度収支決算書を作成した。
- ・11 月分事務員給料を送金した。

〈渉外部〉11 月 20 日（火）に部会を開催した。

- ・府民健康フォーラム（10 月 28 日開催）について報告した。  
参加者：246 名（内 薬剤師会 146 名、臨床検査技師会 26 名、栄養士会 62 名、一般市民 30 名）
- ・大臨技・大放技合同フォーラム（1 月 19 日開催）の進捗状況について説明した。
- ・日臨技公益委託事業案（HIV 対策）（1 月 16 日 17：30～19：30、近畿医療にて開催）について説

明した。

- ・手話講演会（2月2日 15:00～16:45、近畿医療にて開催予定）の進捗状況について説明した。
- ・献血推進活動の進捗状況について説明した。

#### 4. 事業局

〈情報組織部〉11月22日（木）に部会を開催した。

- ・第29回技師長会について内容の最終決定をした。

日 時：平成25年2月23日（土）14:00～17:00

開 場：関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

テーマ：「卒前・卒後教育」

〈地区事業部〉11月15日（木）に部会を開催した。

- ・施設連絡者会について話し合った。

日 時：平成25年3月16日（土）

場 所：大阪産業創造館6階会議室（114名収容）

テーマ：当直・夜間帯における検査対応について

〈学術部〉11月13日（火）に部会を開催した。

- ・第8回学術部講演会について検討した。
- ・平成25年度の事業計画および予算書の提出期限を決めた。

### Ⅲ. 他、報告

#### 1. 平成25年度からの会費納入方法変更に伴う対応について（吉本副会長）

標記について、会員向け案内文、大臨技ニュース12月号の表紙および大臨技ニュース1月号の事務局便りに掲載し広報した。

#### 2. 技師会会費の領収書について（吉本副会長）

日臨技および大臨技入会の会員については、日臨技ホームページから自身により日臨技および大臨技会費の領収内容が1枚の領収書として印字可能である。現在、地臨技のみの領収書を分離して出力できる機能がないため、日臨技への要望として挙げた。

#### 3. 平成24年度大臨技会長賞の候補者推薦について（吉本副会長）

大阪府下の臨床検査技師教育施設（下記3校）に対し、平成24年度の卒業見込みで、成績優秀・品行方正・当会の事業への貢献が顕著な学生1名の推薦を12月1日付の依頼状により依頼した。

①大阪医療技術学園専門学校

②近畿医療技術専門学校

③日本医療学院専門学校

#### 4. 平成24年度感謝状表彰について（吉本副会長）

標記について、現在、推薦された4名の候補者がいるので、1月の理事会終了後に審査委員会を開催して決定する。

#### 5. 平成25年度憲法記念日知事表彰候補者の推薦について（吉本副会長）

標記候補者として、高田常務理事と清水理事を推薦した。

#### 6. 大臨技データ標準化の進捗状況について（竹浦副会長）

12月6日に会議を開催し、評価項目数の増加に伴う評価方法について検討し、増加項目についても同条件で評価することとした。また、報告書の送付は、確実性を優先しメールではなく郵送とした。

7. その他

- ・平成25年度秋の叙勲・褒章候補者（衛生分野）として、阿波島 清氏を推薦するための申請手続きをしている。（吉本副会長）
- ・各部の来年度予算申請書を今月中に提出すること。（荒木常務理事）
- ・2013年1月19日（土）に開催の大臨技・大放技合同フォーラムおよび同懇親会の出欠連絡を依頼した。（増田理事）。
- ・公益社団法人申請に関する進捗説明があった。（運天会長）

IV. 議 題

1. 国際学会について（運天会長）

平成28年に開催される国際学会(IFBLS)を兵庫臨県床検査技師会が担当することについて、理事会で承認された。

2. 日臨技関西支部学会準備委員会の立ち上げについて（運天会長）

平成27年に開催される日臨技関西支部学会の準備委員会について、清水関西支部幹事をリーダーとして運天会長、竹浦副会長、吉本副会長を中心として立ち上げて行くこととした。

会場は、国際交流センターが候補地として上がっているが他の会場も検討して行く。

3. 日臨技連盟連絡責任者について（運天会長）

日臨技連盟連絡責任者として運天会長より竹浦副会長が推薦され、承認された。

4. 大臨技研修会等における参加費・資料代について（運天会長）

平成25年1月より、チーム医療に関わる多職種公開講座の参加者から資料代は徴収しないこととした。

5. 企業からの後援依頼について（高田常務理事）

企業主催の研修会を近臨技が後援してきた経緯があるが、今後、日臨技関西支部として承認できなくなることについて検討した結果、大阪で開催の研修会については、今後は企業から後援依頼を提出してもらうこととした。

これに伴い、平成25年3月9日（土）開催の第11回近畿SMBG・糖尿病セミナーにおいても企業主催で大臨技後援とすることとし、企業からの後援依頼提出を依頼することとした。

6. その他

1) 第23回生物試料分析科学会年次学術集会について（増田理事）

標記会（日時：2013年2月10日（日）～11日（月・祝）、場所：新梅田研修センター）について、会員への広報依頼があり、承認された。

以上

理事会議事録確認（署名）
